



編集・発行 長野市立長野図書館
〒380-0843 長野市長門町 1097-3
電話 026-232-3558
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



梅雨のくらし

梅雨といえば雨が多くて何だか憂鬱、ジメジメ暑くて体もだるい、そんな方も多いのでは。心身ともに疲れやすいこの時期、食事や生活に気を付けて過ごしたいですね。

旬のものにはその時期の身体に必要な栄養が豊富です。味が濃く糖度も高い初夏のトマト、胃もたれに良いらっきょう、食欲増進のみょうがなどがあります。そして何ととっても梅は、クエン酸で疲労回復、殺菌効果で食中毒予防と、この時期にピッタリです。梅雨は梅で保存食を作る「梅仕事」の時期でもありますね。青梅は梅酒や梅シロップを作るのに向き、熟した黄色い梅は梅干しや梅ジャムを作るのに向きますよ。

雨の日には家で本を読んで過ごす「晴耕雨読」もいいですし、雨に濡れた紫陽花の観賞に出かけるのもいいですね。紫陽花は雨でも花が散らないのではなく、花びらのように見えるのは「萼(がく)」のため、簡単には散らないようです。紫陽花は「四葩(よひら)の花」という別称もあり、俳句の季語にも使われます。この時期の季語には、梅雨入りを指す「入梅(にゅうばい)」や、梅雨の別称「五月雨(さみだれ)」などがあり、それらの季語で一句詠むのも風流ですね。

その時期だからこそその食や風景があります。梅雨のくらしを楽しみましょう。



参考文献：『日本の七十二候を楽しむ』白井 明大／文 KADOKAWA《449シ》
『日本の歳時記 夏』宇多 喜代子／編集委員 小学館《911.3ニ2》

今月のテーマ本

6月映画上映予定

『寅さんを読もう!』

俳優の渥美清さんが亡くなって、今年の8月で28年になります。代表作の『男はつらいよ』シリーズは全50作の映画で、今でもファンの多い作品です。6・7月のテーマは、この映画に関わる本を集めてみました。いろいろな視点から寅さんを思い出してみたいかがでしょうか。そして寅さんをあまり知らない方は、ぜひこの機会に寅さんという人物に触れてみてください。

【日時】 6月22日(土) 午後2時から

【会場】 3階視聴覚室

タイトル … 「バグダッドの盗賊」
モノクロ・サイレント映画
<1924年アメリカ作品>

上映時間 … 139分

監督 … ラオール・ウォルシュ

CAST … ダグラス・フェアバンクス
ジュラン・ジョンストン

図書館カレンダー

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開館時間 平日 9:45～19:00
土日祝 9:45～18:00

6/3(月)～6/16(日)

蔵書点検のため休館いたします。

■ … 休館日

新刊情報

『よくわかる地形・地質』

吉川敏之/監修・著

ユーキャン学び出版 (454 ヨ)

山も川も海岸も、今の姿になったのには理由がある。4つのプレートの境界に位置し、さまざまな変動の舞台となる日本列島。その生い立ち、複雑で多様な地形や地質をマンガとイラストで解説する。

『スイーツ写真の教科書』

三矢健登/著 オレンジページ (743 ミ)

焼きたてフィナンシェのエッジ、カヌレの光沢感、しっとりとしたジェノワーズ…。スイーツ狂いで元料理人のカメラマンが、スイーツ写真の悩みを解決! カメラの基礎から、光の扱い方、スタイリングまで幅広く解説する。

『わたしの eyePhone』

三宮麻由子/著 早川書房 (914.6 サ)

この小さな四角い相棒は私の目になって、文字を読んでもくれる。自由に買い物を見せてくれるし、コミュニケーションの可能性を開いてくれる。幼くして光を失った著者が、iPhone との発見に満ちた日々を生き生きとつづる。

『美しい小さな飲食店の間取り』

エクснаレッジ (673 ウ)

なぜ、あの店に人は集まるのか? ベーカリー、カフェ、居酒屋、ドリンクスタンドなど、人気が出る飲食店の工夫を写真やイラスト、間取り図等で徹底解剖。設計や創作に役立つ資料も掲載する。『建築知識』掲載を加筆、再編集。

『娘が巣立つ朝』

伊吹有喜/著 文藝春秋 (Fイ)

娘の婚約をきっかけに一家は荒波に揺さぶられ始める。父母そして娘。3人それぞれの心の旅路は、ときに隔たり、ときに結びつき…つむがれていく家族の物語。『河北新報』他掲載に加筆。

『失踪願望。続』

椎名誠/著 集英社 (915.6 シ2)

若き頃の“失踪”と“キタ・セクスアリス”の告白、青春の別れと悔恨をつづって新たな人生の世界線をひらく作家・椎名誠の新境地。『WEB-MAGAZINE 集英社学芸の森』連載に書き下ろしを加え単行本化。

4月・5月発表の主な文学賞

2024年 本屋大賞

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈 《Fミ》

第43回 新田次郎文学賞

『ドードー鳥と孤独鳥』

川端裕人 《Fカ》

第48回 川端康成文学賞

『私の批評』

町屋良平 『文藝』2023年春季号掲載

第24回 本格ミステリ大賞

【小説部門】

『地雷グリコ』

青崎有吾 《Fア》

第24回 本格ミステリ大賞

【評論・研究部門】

『ミステリ・ライブラリ・インヴェスティゲーション』

川出正樹 《902カ》

第40回 太宰治賞

『メメントラブドール』

市街地ギャオ 未出版

新着CD案内

アンディ・ウォーホルと音楽

《760ア》

尺八プレイズ

《763イ》

ゴッドファーザー愛のテーマ

《763シ》

アメイジング・ハワイアン

《764ア》

権太楼十八番

《779ヤ》

見たり聞いたり

『ファンタスティック・ハーモニカ』

崎元讓 / ハーモニカ《763サ》

日本のハーモニカ奏者崎元讓が、初りサイタルを開いてから55年を記念して作られたアルバムです。「赤とんぼ」や「セレナーデ」など懐かしい童謡から明るい楽曲まで全19曲収録されています。